経営比較分析表（令和6年度決算）

長崎県平戸市　平戸市立生月病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	5	－	ド 訓	救 臨
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
27,908	3,086	第１種該当	－	１３：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
52	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	52
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
42	－	42

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

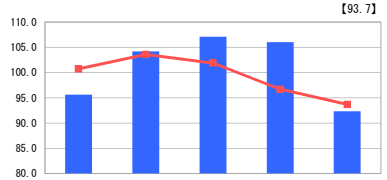
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

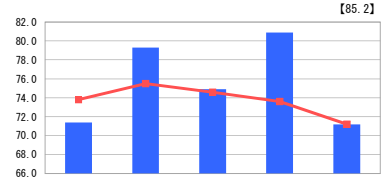
【93.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	95.6	104.2	107.1	106.0	92.3
平均値	100.7	103.6	101.9	96.7	93.7

②医業収支比率(%)

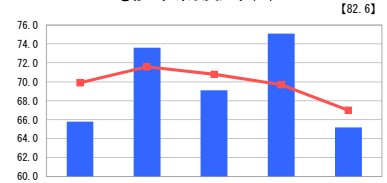
【85.2】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	71.4	79.3	74.9	80.9	71.2
平均値	73.8	75.5	74.6	73.6	71.2

③修正医業収支比率(%)

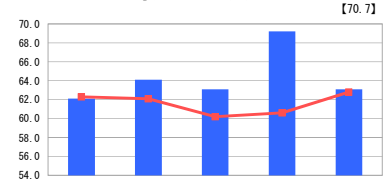
【82.6】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	65.8	73.6	69.1	75.1	65.2
平均値	69.9	71.6	70.8	69.7	67.0

④病床利用率(%)

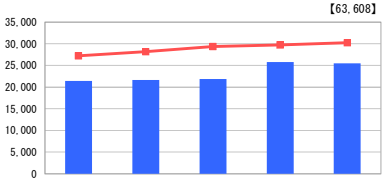
【70.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	62.1	64.1	63.1	69.2	63.1
平均値	62.3	62.1	60.2	60.6	62.8

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

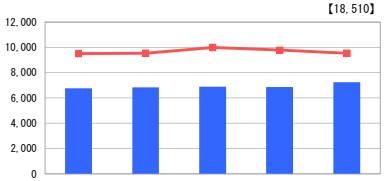
【63,608】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	21,407	21,601	21,898	25,813	25,487
平均値	27,227	28,176	29,348	29,723	30,242

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

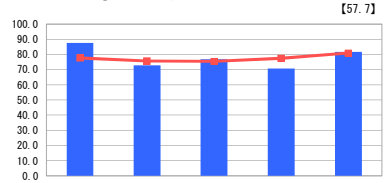
【18,510】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	6,751	6,829	6,899	6,873	7,248
平均値	9,509	9,548	9,992	9,779	9,547

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

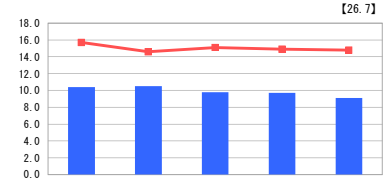
【57.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	87.6	72.8	76.9	70.8	81.7
平均値	77.7	75.7	75.4	77.5	80.9

⑧材料費対医業収益比率(%)

【26.7】

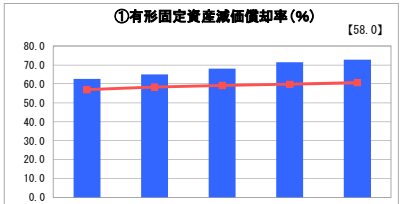


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	10.4	10.5	9.8	9.7	9.1
平均値	15.7	14.6	15.1	14.9	14.8

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

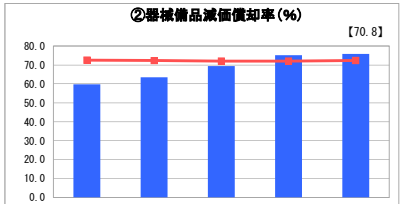
【58.0】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	62.7	65.0	68.1	71.4	72.8
平均値	56.9	58.3	59.2	59.8	60.6

②器械備品減価償却率(%)

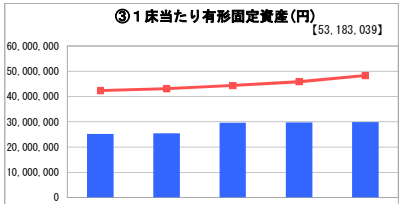
【70.8】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	59.7	63.5	69.4	75.2	75.8
平均値	72.5	72.3	72.0	72.0	72.4

③１床当たり有形固定資産(円)

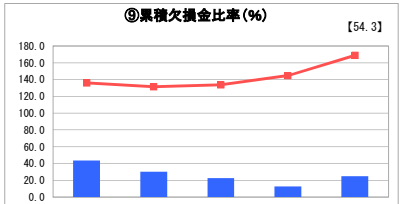
【53,183,039】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	25,208,183	25,422,800	29,594,423	29,671,308	29,780,308
平均値	42,330,999	43,068,047	44,341,948	45,796,115	48,319,566

⑨累積欠損金比率(%)

【54.3】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	43.3	30.2	22.3	12.7	24.8
平均値	136.0	131.3	133.6	144.6	168.7

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

平戸市立生月病院は、昭和55年11月に長崎県離島医療圏組合生月病院として、現在地に移転開設した。生月町において、唯一の医療機関であり、救急告示病院として、一次救急医療のほとんどを担っている。

また、訪問診療のほか、訪問看護、訪問リハビリテーションの介護保険サービスを実施すると共に特定健診や事業所健診など保健事業の推進を図り、保健・医療・福祉が一体となった地域医療を提供している。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は平成30年度から患者数の減少により100%を割り込んでいたが、令和３～５年度は100%を上回った。要因としては、令和３・４年度は、新型コロナウイルス感染症関連補助金及び人件費の減少によるものであるが、令和５年度は入院収益の増も要因として考えられる。令和６年度は入院・外来とも患者数の減少や人件費増及び物価高騰により100%を割り込んでいる。

これまでの経常収支比率に対する医業収支比率から見ても、他会計からの繰入金に依存しており厳しい経営状況である。

病床利用率が類似病院平均値と比較してほぼ同水準であるのに対して入院患者１人１日当たり収益が類似病院平均値を下まわっているのは、現在の医療体制では、手術等が実施出来ず診療単価が増えない状況のためである。そのような中、令和４年度に地域包括ケア病床へ10床転換し、令和６年度においても引き続き活用できており、一定の収益は増加している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、建築から築44年を経過していることから施設全体の老朽化が進み、安全性、快適性に欠けた医療施設になってきており、修繕が増加している。

器械備品減価償却率については、令和４年度まで類似病院平均値と乖離していたが、令和６年度は全国平均と同規模である。施設や医療機器の老朽化は進行しており、地域における病院の役割についても検討事項となっていることから、それに応じた施設や医療機器の更新を検討していく必要がある。

１床当たり有形固定資産は、全国平均から大きく乖離しており、過剰投資を行っていない状況が読み取れる。

全体総括

経常収支比率は、令和３～５年度は新型コロナウイルス感染症関連補助金により改善が見られたものの、これは一時的なものである。経常収支比率は、令和元年度及び令和２年度まで患者数の減少により全国平均を下回っている。令和５年度は入院収益が増えたが、令和６年度は人口減少もあり入院外来収益ともに減少し、厳しい状況である。

医師数が少ない状況が続いており経営状況に影響していることから地域が必要とする診療科の医師を確保することにより、患者数の増加及び患者１人当たりの収益増が見込め経営の安定化につながっていくと考えられる。令和４年７月には一部病床を地域包括ケア病床に転換して、この運用を適切に行うとともに策定している新改革プランに沿って地域に必要とされる医療等の経営改善策に取り組み、経営の健全化を図っていく。また、地域における病院の役割についても検討事項となっていることから、それに応じて必要な対策を講じていく必要がある。